



(株)峰岸商会	(本 社)甲府市増坪町74	055-241-315
	(営業所)上野原市新田661	0554-62-332

梅雨明け間近になりましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。今年も猛暑と噂されておりますが、体調管理には気を付けて下さい。さて、**鋼魂**も皆様にご協力を頂き2年が経ちました。今後も、皆様方に喜んで頂ける情報源として頑張っていきたいと思っております。

<編集者>
塚原 望月 村松 赤木 山田
佳由 博隆 貴 健三 幸平

鋼種 Q & A

～ 快削鋼について ～

快削鋼とは低炭素鋼に硫黄(S)、鉛(Pb)、マンガン(Mn)を添加し、被切削性をよくするため工夫を施した鋼のことで、見た目は磨き材とほぼ一緒にて分かりにくい為、端面が白及び金色に塗られています。

一般に流通しているのはSS材(低炭素)とS-C材(高炭素)ですが、主流なのはSS材(低炭素)になります。

JIS規格ではSUM22(硫黄快削鋼)とSUM24L(鉛快削鋼)または超快削鋼の2種が代表ですが、EU-RoHS規制の禁止6物質に「鉛及び鉛化合物」があるため、SUM22が比較的に使われております。

JIS呼称	SUM22	SUM24L
	硫黄快削鋼	鉛快削鋼
対応AISI	AISI 1213	AISI 12L14
S% (硫黄)	0.24 ~ 0.33 %	0.26 ~ 0.35 %
Pb% (鉛)	0%	0.10 ~ 0.35 %
引張強さ	440N/mm2	440N/mm2

JIS G4804 『硫黄および硫黄複合快削鋼鋼材』の代表例

現在では、各製鉄メーカーが改良を重ねて有害物質を極力少なくした快削鋼を開発しており、大手半導体関係の企業ではそのような快削鋼を採用しています。その他では、ステンレスにも快削鋼があります。

社長のワンポイント

新緑の5月と思っておりましたが、一気に真夏日の連日と感じておりましたら季節通りの梅雨。季節も何か異常な流れ、昨今は日本列島火山帯国ということではよいよ、災害という事更に身近に感じられるようになって参りました。さて、5月明けの6月はあまり動きが活発で無い様相が出ており、北関東はじめ東部西部とも荷動きが激しくありません。長野中信エリアも、建機の動きが昨年以上に悪いとのこと。海外を見ても、特に中国経済の鈍化が叫ばれておりますが、現地メーカーの総経理に先日お目にかかったときの話ですが、日系の企業が軒並みダウンしている部分が見受けられるが、欧米の車メーカーがやはりブランドイメージで先手を打って拡販に努めている。日系自動車関係の鈍化で関連会社が生産減。勿論、人件費高騰が思った以上に速いペースで高騰していると言う事で、世界の製造業メーカーの撤退は、加速しているようです。国営企業の管理体制(賄賂体質)も取りだたされて、やり方、接し方も大きく変化しているとのこと。仕事は円安で日本国内に戻っている部分も昨年以上にあると言われておりますが、単価の問題で大量生産品は、アジア(ベトナム・タイ・東南アジア)に動いているようです。最近ではインド経済と言うことをメーカーサイドが口にしており、人口という部分での魅力が最大ようです。ソフトバンクの次期社長はインドの方で、次の市場はインド戦略とのこと。世界の中の日本そして山梨。いかに高付加価値の製品の提供をしていくことが、5、10年先の製造業の波に乗れるかどうかとのことでした。

★国中エリア★ 塚原

6月に入り前月と比べ、やや落ち着いて来たように感じますが、2015年の上半期は例年と比べると比較的稼働が良かったと思います。特に半導体関係が高稼働だった事もあり、県内のもの作り企業全体が動いていました。半導体は下半期に入りややスローペースになると予想されておりますが、親企業の受注量次第では依然高稼働をキープしていく企業もあると聞きます。機械部品、車関係はメーカーにもよりますが、まだまだ忙しく稼働している様子です。

★郡内エリア★ 望月

5月末から6月中旬にかけて、仕事量が急激に減速しているように感じております。工作機械メーカーは在庫調整に入ったようで今はおとなしくなっているようです。半導体関係は、郡内大手では内製化止まりです。板金系は外に出しているそうです。また、T社は5月と比べると落ちるそうですが仕事量は健在です。自動車関係は国内向けは厳しい状況です。試作系が出ていないのが気になります。山梨だけではなく、東京、神奈川においても非常に厳しい状況でもあります。その中で、取引会社が多いお客様で忙しい所もあります。6月はこの状況が続くと見解しているお客様が多いですが、7月も続く意見と7月から少しずつ動くというお客様もいます。動向をさぐりつつ、見ていきたいと思っております。

★上野原エリア★ 山田

上野原エリアは、忙しいお客様と仕事量の少ないお客様との差が大きかった6月に思えました。依然として、半導体関係では、アルミ材やSUS材の仕事が多く出ている様子でした。自動車関係は今年前半のような受注量で無いものの、動いているようです。しかし全体で見ると仕事量が多くて安心とはいかないようです。先日、仕入れ先との打ち合わせでも「仕事量が少ない」との話も聞きましたし、東京方面においても「減少傾向が続いている」とのお話も聞いておりますが、7月中旬あたりから動きが出るとの話も聞いていますので、今後の動きに注意していきたいと思っております。